

【めむろ未来ミーティング日程3】

令和5年1月11日（水）

10:00～11:00

坂の上コミュニティセンター

（博進区・坂の上区・明友区・栄区）

■参加者 17人

■芽室町 町長、副町長、教育長、環境土木課長、農林課長、政策推進課長補佐

■記録 今森

■対応・検討が必要な事項

①明渠取り付けへの要望（環境土木課・農林課）

②停電、光ケーブル断線時の対応について（政策推進課）

1 開会

2 副町長挨拶

3 町からの説明事項

資料1 公共施設等再配置構想

資料2 まちなか再生の取り組み

資料3 マイナンバーカード臨時窓口

資料4 芽室町 LINE 公式アカウント説明書

4 意見交換

【意見】

①明渠の取り付けについて、幅が狭い所がある。大型コンバインのキャタピラが15cm くらいはみ出ていることもある。コンバインも大型化しており、何か起きてからでは遅いので対応をお願いしたい。

【農林課長】

明渠の取り付けについて、各地区から同様の話をいただいている。10年、20年前の国営・道営の事業で

整備しており、当時の農業機械には十分な幅であったが機械の大型化により合わなくなってしまった。国営道営の事業は次の順番が来るまでに、どうしても10年、20年かかってしまう現状がある。順番が来た際には道や国にも現状の取り付け幅では足りない、拡幅してほしい旨を調整していきたい。実際、いま川北地区に入る国営事業では対象となる取り付けについて拡幅含め現状に合う形になるよう要望している。何とかご要望にお応えできるような状況になるよう、国や道に働きかけていく。

【町長】

基本的には国営・道営事業に被せて整備していくことになる。ただしチェックをしていく中で、あまりに危険度の高いところは団体営、町でピンポイントに対応する方法もある。

多くの箇所を対象にするとすれば国営、道営になってしまう。道営事業の方は渋山、上美生方面の後にこちらの地区となるので、期間からいうと暫くお待ちいただくことになると思う。我々も優先度、危険度を把握した上で対応できるところはやっていく。

【意見】

①後の世代の営農にも関わることなので、危険箇所は最低限でも良いので対応いただきたい。15cmはみ出て走るのと、道幅丁度で走るのではかなり違う。国営・道営事業に合わせる点になるのは理解しているが、特に危険な箇所は町で現状を見て把握いただきたい。

【町長】

この箇所が特に酷い、という情報を抑えておく必要はあると考えている。担当課の維持管理パトロールのなかで把握するほか、地域からも情報をいただければありがたい。

また、橋梁も狭いという意見をいただいている。川北地区は国営事業でいくつか対応できる可能性があるが、ちょっとした橋でも新設するには億単位の費用が必要となる。明渠の取り付けであれば町営で対応できるものは町営で、バランスを取りながら対応

していきたい。

【意見】

新嵐山について。関係者の努力もあり、今年はスキースクールへの申し込みも定員が埋まっていると聞いている。あとは施設の老朽化もあると思うが、スタッフ確保として冬に仕事がない農業者など活用してはどうか。

【副町長】

今年は自然降雪があり、万全の状態ではないがスキーヤーの皆さんには満足いただいている。しかし、どこの業界でもそうだが、スタッフはなかなか確保できていない。特に冬の短期間で雇用するような社員が見つからず、派遣会社に斡旋をお願いしているところである。

今、口づてで3人4人ほど若い農家の後継者にパートで来ていただいている。できればそういった方々をリピーターのように毎年繋げていきたい考えもあり、広げていきたい。社員登用について、先日は上美生の高卒生を1名採用した。今後も地元採用は継続していきたい。

施設老朽化などの問題もあるが、来た方に満足いただけるよう継続した取り組みを行っていきたい。

【意見】

②12月の大雪で、光ケーブルが断線した。管理会社に電話をかけたが、混線しており繋がるまで40分もかかった。今後こういうことがあるなら、町としても通信会社に対策を要請していただきたい。

【町長】

他方面からも同様の話をいただいている。今回は雪が重く着氷しやすかったということもあるが、雪が降るたびに簡単に断線されては困る。私どもも事業者に対策を要請したい。

今回は停電もあり、皆さまにご迷惑をかけた。併せて対策をしっかりと考えなくてはならない。

【意見】

電線なのか電話線なのか、低い所まで垂れ下がって

いる箇所がある。電柱も傾いているところがあり、再整備をお願いしたい。

【町長】

再度断線の原因になりかねないので、事業者に見回りを依頼するなど対応したい。

【意見】

②広報などに、通報先を載せてもらう方法もある。そこまで町で対応するのもどうかと思う。自分のことは自分でという線引きはあってもいい。

【意見】

ビートの減産について。55万トンというのは20年以上前にできている話で、その先の話はしていない。他の町村と芽室は事情も違う。その話ももうちょっと詰めてやっていかないと。国への要望にしても、今後どういう方向性でやっていくのか。直播を推進する方針を続けるのか。77万トンから64万トンになり、現在まで来ている。最終的に45万トンで収まるのか。

【町長】

私としては急に聞いた感覚もある。日甜や糖業協会、国に対して物申した。日甜に聞くと前々から減産の話はあったようだ。ビート工場を持っている自治体含めていろいろ要望したりして維持していた状況もある。輪作体系上ビートは必要だと思う。全道の幹事長、8つ自治体があってそういったところとの連携や、農協系統のところと連携しながら今後どうするのか考えていきたい。日甜と話したところでは、全国的に糖が体に悪いという風潮もあり、出口ベースが増えない。

甜菜でロケット燃料を作るといった研究もあると聞いている。私としては作付面積を確保できれば、砂糖になるのも、研究が進んで燃料になるのも良いと思っている。問題は品代で、差があつて低くなると誰も作らなくなる。国に対しては砂糖との差額を交付してもらうよう要望するだとか、町として支援策を打ち出すような考えもある。今後減産が進み、仰

るように45万トンになる可能性もある。そうなる前に協議会の方でも農水省と話しをしようという話になっている。年明けになってしまうが、牽制していきたい。そうでもしなくては、本当にビートがなくなってしまう。単純な農作物の問題だけでなく、運輸をはじめとする町の産業に大きな影響がある。そういう意味では非常に危機感を持っている。早めに取り組んでいきたい。

【意見】

農協と一緒にって取り組んでもらいたい。他の作物は価格が上がっているが、ビートはそうならない。適正な料金になってほしい。

【町長】

これは研究していかなければならないと思うが、芽室には2万町しかない。これが2万5千、3万になるわけではないが、いろいろな作目を求められている現状はある。製菓業者からはポテトを作ってほしいという要望もあり、国からは種馬鈴薯を作ってもらいたいという話もある。大豆、麦もそうだが、輪作体系は一定程度守っていかなくてはならないというのは絶対的にある。基本的には（農業者）ご本人それぞれの考え方だとは思いますが、全町としてどういう風に考えていくのかという方針の必要性は感じている。転作したから駄目というものではないが、今のままで本当に麦や大豆ばかり増えていくのが良いのか、そもそも今は麦も過作。町全体として考えていかなくてはならない。

【意見】

昨年、商社の方と話したところ、肥料の国際相場は少し下がってきているようだ。次年度以降は何百円単位か下がるかもしれない。

ただ、他のものは農薬含め価格が上がり、危機感がある。ここ3年でふるいにかけてられるのかなというのも感じている。

【町長】

国の考え方も正直なところ分からないという部分も

ある。食糧基地である北海道、道東をどういう風に見ているのか。端的にいうと今、農水は弱い部分もある。国会議員の中にもどれだけ農政を知っている方がいるのか。どうしても作目に対する支援になる部分も雰囲気としてはある。そのため、単純に自治体だけではなくて、農協のような関係機関と一緒に要望する。あるいは自治体同士で連携取ってやらなくては、一自治体が物申しても意味が薄いので、連携を図っていきたい。

【意見】

新聞で上士幌の太陽光エネルギーの補助率が上がったと聞いている。芽室町はそのへんどうお考えか。

【町長】

十勝管内では、再生エネルギー関係は上士幌、鹿追が進んでいる。十勝全体で、各自治体でゼロカーボン宣言をしましょうというのは決まっている。再生エネルギー含めてCO₂をいかに削減するか。その場合は森林植えましょうとか、差し引きでカーボンをゼロにする宣言をするのは決まっている。芽室町はご存じのとおり、例えば東工業団地で多くのCO₂を出している。それが悪いということではなく、そういう街づくりをしてきたので仕方がないが、それをプラスマイナスゼロにするような取り組みをすると、非常に難しいものがある。地球温暖化防止計画の区域施策編というものがあり、それを来年度から策定していく予定。そこで実際に排出されているCO₂と、それと相殺できる再生エネルギーなどを計画していく。今段階で具体的に実現するかは分からないが、例えば役場から病院くらいまでのマイクログリッド、小さい範囲で再生エネルギーによって電気を賄えないかといった取り組みを構想している。

新年度からは役場にゼロカーボンの担当、DX推進担当、この2つ担当を新設したいと考えている。ご意見をいただいたように、この2つは重要な問題のため、組織的に取り組んでいきたい。

美生ダムで小水力の水量を使って回す発電について、これは着手している。機械の方が発注してから1年

半ほどかかることもあり、運用は令和8年からの予定。国営事業で行っており、国の方で計画している。売電の収入は水路などの維持管理にも使えるとのことなので、皆さんの負担についても低減させるようにできないかという所までお話をさせていただいている。

【意見】

手を挙げたもの順になっていると聞いたこともある。太陽光も売電価格が下がってきているので、売電ではなく自分たちでエネルギーを使うという考え方もある。数年前のブラックアウトのようなことはそう起こらないと思うが、先日の大雪での停電状態が数日続いてしまうと生活できない環境になってしまう。そういうのを考えた方が良くと思う。

【町長】

おっしゃる通り、自分で使うという意味では良いと思う。いずれにせよ、再生エネルギーは積極的に進めなくてはならないと考えている。ただし、宣言自体は管内でも遅くなるのではと思う。どのような方法でやるのか何も示さないのに、ただゼロカーボンとは言えない。

一方、国の方では手を挙げたところに補助を付けようという動きがあり、チャンスではあるもののバランスを考えてやっていきたい。

【意見】

10線防風林について、半分はやってもらっているが、残り半分もやってもらいたい。

【農林課長】

枝払いのことでよろしいか。

【意見】

枝払いと植え替え。あまり古くなると、中が空洞になってくる。

【農林課長】

森林組合とも話し合いながら、危険な部分是对応し

ていきたい。枝払いについては昨年の未来ミーティングでもお話いただいた内容は認識しており、夏の間に道路・畑にせり出してくる枝の件も把握している。

令和2年から枝払いの方は計画的に実施している。今年度まで0号から始めて15号まで終わっている。来年度、15号から17号で全て終わるが、令和6年度以降も定期的に対応していきたい。また、畑側の枝で農作業の妨げになっているものは、予算の範囲にはなってしまうが、要望をいただければ随時対応したい。面倒かもしれないが、ご一報いただきたい。

【町長】

幅が約40mあって、20m伐採して植えて、順番に伐採する仕組みになっている。何となく大きくなったから切つてよいかというものでもなく、タイミングも考えなくてはならない。

【意見】

最初に切るのが遅かったと思う。

【町長】

最初に切るのが少し遅かったとは思う。反対側が伸びないので、伸びている方が切れない所もある。伸びすぎて空洞化し倒れる可能性もあるため、手法含め対応を考えていきたい。



11:00 終了